



特集

1. 農業経営の強化
2. 麦の生育状況
3. 育苗ハウス
4. ホームページの作成

ひとりごと

昨今「終活」がよく話題になっている。特にエンディングノートの作成方法等が特集され、継承者にとっては有り難い事であると思います。何も知らないまま継承されても大変ですからね。最近、町内の若者から、「我が家の田んぼは何処にあるのか知らない」という話を聞きました。今一度家族で、自分の田んぼが何処にあるのか話し合ってみてはいかがでしょうか。大きな園場では、何筆にも分かれています。久



農業経営の体力強化を！

平成の時代も残り3ヶ月余りとなり、5月からは新元号に移行します。混沌とした米中の貿易摩擦の推移次第では、我が国の経済状況に大きく影響してくると思われる。特に体力が弱い農業を取り巻く環境は、大いに変化する可能性がある。いかなる状況になろうとも、負けることが無い強い体質を作り上げる必要性を感じる。平成30年度においては、高温障害や台風の影響で減収となりましたが、資材購入の見直し・販路開拓により増益で、財務内容が幾分改善に向かいましたが、今年度は、滋賀県の推奨米で特Aの「みずかがみ」の作付面積を増やし、収益の拡大を目指しています。今後は産地間競争を生き抜くため、体質の強化をはかっていきますので、また一年作業等へのご協力をお願い致します。

みずかがみ	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴
1013.3a	229.7a	515.6a	676.0a



麦の生育状況

昨年の11月初旬に播種した小麦も、暖冬の影響もあり順調に成長しているようです。真冬の寒さにおいても、緑色のジュウタンは気分がいいもので、昨年の過去最高の収量以上を期待している。2月末には穂肥の散布を予定しています。

ハウスの修繕

昨年の台風21号により損壊していました育苗ハウスが、今月より修繕工事が始まり、4月からは予定通り稲の育苗ができるようです。



ホームページ

滋賀県主催の6次産業化セミナーにおいて、先進的な取り組みをされている農業者と話をすることがあり、ホームページを作成後は、インターネットでの飯米の販売が収益の確保に貢献しているとのこと。消費者の中には「良品には金を出す」か、安価な品物かの選択肢があるようで、良質な作物を栽培して利益率を向上させる努力が、より一層必要です。当法人でも、今後ホームページを作成して、収益向上対策の一助になればと思います。

*今後の予定

2月17日(日)13:00～定例総会 「肥田町公民館」
2月下旬 麦の穂肥散布